

# 運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社  
東京都荒川区西日暮里3-6-10  
佐々木ビル3F 〒116-0013  
TEL03-5685-0035  
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2  
〒541-0048 TEL06-6209-3261  
発行人・野田裕之  
火・金発行(祝日を除く)  
3,600円/月(送料・税込)

2021年

6月1日(火)

第17399号

http://www.e-sohko.com



e-SOHKO GROUP

倉庫のならこ  
倉庫のならこ  
倉庫のならこ

イーソーコ株式会社

TEL.03-5439-9401

## 事故調査委員会 重大事故を分析

# 疲労回復不十分、機器活用も



当該車両と大破した相手車両  
期間(8時間)が不足していた。事業者は、2泊以上の場合作成し、運行指示書を

事業用自動車事故調査委員会は、社会的影響が大きい事故2件(大型トラック追突事故・大型乗合バス衝突事故)について分析した調査報告書を公表した。トラックの事故は居眠り運転による典型的な追突事故で、休息が十分でなく注意力が低下し発生した。

委員会は今年で7年目。5年が経過した際に過去40数件の事故を総括し、①過労運転による居眠り事故②体調急変や体調不良による事故③前方不注意(わき見運転)による事故④速度超過状態で走行するトラックの横転事故⑤周囲の状況や積荷に合わせた運転操作ができず発生した事故の5つのパターンに大別されたとしていた。

今回の大型トラックによる事故は、5類型の中で最も多いもの。2019年6月13日13時10分頃、滋賀県蒲生郡竜王町の名神高速道路上で、渋滞中の車列に追突し、3人が死亡する多重衝突事故が発生、運転者は35歳だった。

眠気を感じたまま運転を継続し、前方車両に気づくのが遅れた。過去1カ月の運行で休憩場所は車中が約半数、かつ休憩期間(8時間)が不足していた。事業者は、2泊以上の場合作成し、運行指示書を

酒井一博委員長は、特に改善基準告示の休憩期間が守られておらず、しかも車中休憩が多く疲労回復が図られていなかったことを挙げ、「働き方改革真っ只中において大きな事故が起きた」と指摘した。

再発防止策は、運転者は乗務中に眠気が生じた場合はただちに車両を安全な場所に停止させる、事業者・運行管理者は車中以外の休憩場所を確保する、運行指示書を必ず作成し、休憩地点・休憩

## 100%の消費者に認知

### 新物流大綱 代表的なKPI設定

国土交通省、経済産業省、農林水産省は、新たな総合物流施策大綱2021~25年度(案)について5月31日までを期間に一般からの意見を募集、その中で代表的な指標(KPI)を示した。

新物流大綱の3本柱である「物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化」に関しては、物流DXに向けた取り組み

みに着手している物流事業者の割合を2025年度までに100%、物流DXを実現している物流事業者の割合を70%、物流DXに向けて荷主と連携した取り組みを行っている物流事業者の割合を50%と、高い目標を掲げた。

物流総合効率化法による認定件数も、輸送網の集約は現行の2倍強の300件、輸送の共同化

#### 代表的な指標(KPI)

	2020年度	2025年度
○物流DXに着手している企業	—	100%
○物流DXを実現している企業	—	70%
○荷主と連携した物流DX企業	—	50%
○サイバーポート接続可能企業	—	650社
○物効法認定件数(輸送網集約)	141件	330件
○物流標準化ガイドライン策定数	—	3件
○スマート物流活用実装件数	0件	3件
○スマート物流活用事業者数	0件	100社
○SCM分野寄附講座数	—	50講座
○高度物流資格取得者数	4,451人	6,000人
○ドライブ年間所得 大型	454万円	全産業平均(487万円)
○ドライブ年間所得 中小型	419万円	(487万円)
○ドライブ年間労働時間 大型	2,532時間	全産業平均(2,100時間)
○ドライブ年間労働時間 中小型	2,484時間	(2,100時間)
○ホワイト物流参加企業数	1,201	3,000
○新設倉庫荷待ち発生率	25%	0%
○船員1人1時間輸送量	4,019トキ	4,919トキ
○物流業の労働生産性(時間)	2,569円	2割向上
○トラック積載率	37.7%	50%
○物効法認定件数(共同化)	21件	100件
○宅配再配達率	10%	7.50%
○食品流通合理化計画認定件数	64件	200件
○物効法認定件数(過疎地域)	14件	100件
○トラック運転若年層の割合	10.3%	16.6%
○物流に問題意識ある消費者	—	100%
○実践している消費者	—	80%
○BCP策定割合 大企業	68%	100%
○BCP策定割合 中小企業	50%	55%
○道路の都市間速達製確率	57%	63%
○港湾耐災害性強化対策	33%	47%
○トラック人身事故件数	15,606件	9,100件
○HACCP対応卸売市場	2件	13件
○アジアでの邦人倉庫面積	—	27%増
○鉄道貨物輸送トンキロ	184億	209億
○海運貨物輸送トンキロ	358億	389億

ている消費者の割合を80%と、これも高い目標と

「強靱で持続可能な物

流ネットワークの構築」

では、BCPやHACC

か、アジアにおけるわが

国物流事業者の海外倉庫

#### 標準的運賃にもとづく届出状況

21年4月末現在

運輸局	届出事業者	割合
北海道	1,249	37.2%
東北	475	11.2%
関東	953	5.3%
北陸信越	661	24.6%
中部	576	8.5%
近畿	676	7.3%
中国	702	17.7%
四国	797	37.4%
九州	1,407	24.6%
沖縄	40	4.8%
全国	7,536	13.2%

昨年4月に国土交通大臣告示された「一般貨物自動車運送事業の標準的な運賃について、都道府県トラック協会の中には荷主との交渉よりも一届け

出先行」とするところもあるが、同省の被川直也自動車局長は「それでも良いと思う」との考えを示した。5月28日の会見(事後)届け出するものが

流」と述べていた。その考えに変わりはないが、「届け出先行方式は、自ら退路を断って交渉しようとする勇ましさの表示」と表現し、容認する姿勢を示した。

#### 標準的運賃

4月末現在 届出率13・2%に

被川氏は、前回の会見では「会社の経営を分析し、荷主と交渉してまとまった結果を運賃として示した」と述べていた。その考えに変わりはないが、「届け出先行方式は、自ら退路を断って交渉しようとする勇ましさの表示」と表現し、容認する姿勢を示した。

果、標準的運賃とかけ離れた場合の対応も必要になることも示唆した。

タイ法人がGDPR認定を取得

近鉄エクスプレス(KWE)のタイにおける現地法人KWE Thailand Express (Thailand) Co., Ltd.がGDPR認定を取得した。

GDPR認定は、タイ国内輸送サービスを提供する医薬品の適正流通基準。ヘルスケア分野は同社グループの品目別営業戦略のコアインフラストラクチャーの一つに据えられており、主力事業である航空フォワーディングにおいてさらなる取扱量の拡大のため、同認定の取得に向けてプロジェクトを進めてきた。

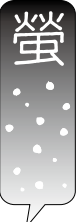
時間を指定する、点呼を運転者任せにせず、点呼で運転者の疲労度や健康状態を確認し、必要な指示を行うことを挙げた。

装置、ふらつき注意喚起装置、走行中の運転者の顔の方向や目の状態をモニターカメラで常時確認し、前方注意力不足が疑われる場合に警告する装置、運転者の生体信号を捉え疲労度合いを警告する

装置の開発や普及に取り組む必要があるとした。酒井委員長は、「当該車両に被害軽減ブレーキは装着されておらず、100km/hで警告が鳴れば回避可能だった」と述べている。

今回の認定取得は、同社グループにおける同認定の取得は8法人目となる。

今回の認定取得は、同社グループの品目別営業戦略のコアインフラストラクチャーの一つに据えられており、主力事業である航空フォワーディングにおいてさらなる取扱量の拡大のため、同認定の取得に向けてプロジェクトを進めてきた。



蛍

昨日、人生の終幕をどのように迎えるかという本が書店に多く見られるようになった。一生をどのように終えるべきかの参考にしようと思っていたところに「60分でわかる宇宙の終わり」という冊子が目に飛び込んできた。ちっぽけな自分の一生のことなど、なげ、宇宙というスケールで考え直してみようと思いきや、速購入◆まず「太陽系が終わるとき」では、80億年後の太陽は今の170倍の大きくなり水星や金星を飲み込み、やがては地球も飲み込まれてしまい、その後膨張と収縮を繰り返して、最後は小さな白い星になって消滅するという◆次に、宇宙には多くの銀河が集まっているが、1000億年後には超巨大楕円銀河に集約され、それらはさらに10の20乗年後には銀河中心のブラックホールに吸い込まれ、あらゆる銀河から天体が消えてしまうという。そのブラックホールもいつかは蒸発し、ただの空っぽの空間になってしまふという宇宙◆終わりに3つの仮説があるという。1つは永遠に「時」が止まった世界。2つは宇宙がちぢみ続けて最後に一点に押し潰されるという説。最後は宇宙が膨張し続け、すべてが引き裂かれるという説だった。ただ、どれもわが終幕の参考には、なりそうもない。

D(21・6・1)